

# 感動一点の場

『壺と鴉と家』  
1989年 小川原 脩 画



画面の奥には白壁の民家があり、手前の地面には赤みのある球体と鴉が描かれています。明るく調和のとれた色調からは静かに広がる時空を感じる作品です。

大きく描かれた球体は、小川原脩が1986（昭和61）年から1987（昭和62）年の年末年始にインドを旅したとき、ガンジスの上流にあるヒンドゥー教の聖地リシケシ、ハリドワールで見た壺です。

聖なるガンジスの水をくむために使われている素焼きの物で、街の屋台店に並んでいたそうです。小川原はこの形態の持つ不思議な魅力に惹かれたと画集に記載しています。帰国後はこの壺をモチーフにした作品を数多く作りました。

完全な球体に近い壺を「まる」、やや右下がりに見える家屋を「四角」、輪郭がシャープに描かれた鴉を「三角」の形に置き換えてみると、単純素朴な形態をした個々のモチーフを使ってひとつの画面を構成していることがわかります。「庭先のこの組み合わせが気に入った」という小川原がこの絵で表現したかった空気や気分を、見る側に読みとってほしいと語りかけてくる作品です。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

## 市街地の河川 いま・むかし

俱知安町内を流れる川には、後志地方を代表する「尻別川」、俱知安の名前の由来となった「俱登山川」、イワオヌプリから流れる「硫黄川」、俱知安の水道の水源から流れる「ソウスケ川」などがあります。

この地図は、現在の地図に1917（大正6）年の河道を重ね合わせたものです。どの川も今と違ってグネグネと蛇行しています。時には蛇行しすぎて、俱知安橋付近、富士見橋、羊蹄大橋付近では二本の流れになっていました。点線は大正の頃すでに古い河道だった場所です。

昔は川が蛇行していたため、大雨で増水すると田畑や住宅地に浸水被害があり危険な状況でした。そのため、1965年（昭和40年代）になると、尻別川や俱登山川の大規模な河川改修が次々と始まりました。蛇行した場所を直線化した河道に切り替え、左右の堤防の間隔を広げ、俱知安橋も河道の切り替えに伴い新しい橋に架け替えられました。そして旧河道は埋められ、新しく田畑や住宅地に生まれ変わっていきました。

文：今井 真司（俱知安風土館 学芸補助員）



青：現在の河道、赤：1917年の河道

## ふるさと探訪

505回

## 展覧会のお知らせ

### ■第1展示室

小川原脩展「アジアの大地」

会期：開催中～5月11日(日)

小川原脩展「私の中の原風景」

会期：5月17日(土)～8月24日(日)

### ■第2展示室

小川原脩セレクション「Humans & Animals」

日時：開催中～7月6日(日)

## アート・イベントのお知らせ

### ■土曜サロン

工作ワークショップ「こいのぼりを作ろう、描こう」

日時：開催中～5月6日（火・振休）9時～16時30分

会場：ロビー（無料）※予約不要

ギャラリートーク 小川原脩「私の中の原風景」

日時：5月17日(土)14時～14時30分

会場：第1展示室（無料）※予約不要

講師：沼田絵美（副館長）

美術館でフランス語

日時：5月17日(土)17時～18時 会場：ロビー（無料）

定員：5名※要予約 予約受付：電話申込（☎21－4141）

講師：柴勤（元美術館長）

映像で見る「東京国立博物館」

日時：5月24日(土)14時～14時40分

会場：映像ルーム（無料）※予約不要

講師：金澤逸子（学芸スタッフ）

### ■ロビー・ギャラリー

北口さつき 5Elements ～空風火水地

会期：6月1日(日)～6月30日(月)

## 俱知安風土館のお知らせ

### ■俱知安いきもの調査隊

第5回セイヨウオオマルハナバチ採集調査会

日時：5月10日(土)10時～12時（少雨決行） 参加費：無料

場所：百年の森公園※予約不要

講師：小田桐亮（風土館学芸員）、広川大恒（百年の森管理人）

### ■ふるさと探訪

古道・旧俱知安峠に行く

日時：5月17日(土)9時～15時（少雨決行） 場所：俱知安風土館 定員：8名※要予約

参加費：250円（保険料） 講師：矢吹全（ニセコネイチャーガイド・フォレストレック主宰）

予約受付：5月10日(土)までに電話申込（☎22－6631）

### ■こいのぼり、泳いでいます

今年度も風土館前にて、こいのぼりを展示しています。こいのぼりの寄付も受け付けています。

※損傷、破損などが激しい物、布製の物は受け付けできません（ナイロン製のみ受け付け可）

# ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円（400円）

高校生 300円（200円）

小中学生 100円（50円）

俱知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円（100円）

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時

入館は16時30分まで

※（ ）内は10名以上の団体料金

5月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため

美術館のみ12日(月)～16日(金)、

振替休日のため7日(木)

※6日(火)は祝日のため開館

17日(土)は展覧会初日のため美術館観覧無料

### ごあいさつ

初めまして。本年4月より小川原脩記念美術館・俱知安風土館の館長となりました高橋と申します。

前任の館長と同じく学芸員ではありませんが、専任の館長として主に小川原脩記念美術館に常駐する形となりました。これから知識、経験豊富なスタッフの協力のもと頑張って参ります。

美術館に勤務し、まず感じたことは「ゆったりした時間が流れている場所」であることでした。皆さんもお散歩がてらお立ち寄りいただき、くつろぎの時間を過ごされてみてはいかがでしょうか。

当コラムでは、できるだけ美術館や風土館の魅力をお伝えしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

館長 高橋 淳之